

本市の考える最善ルート(独自調査)

～南九州主要4都市を直結する南九州ゴールデンルート～

宮崎ブーゲンビリア空港
(宮崎市)

都城駅
(都城市)

鹿児島空港
(霧島市)

鹿児島中央駅
(鹿児島市)

約10分

約10分

約10分

◎都城市のメリット

- ・鹿児島空港～都城市～宮崎ブーゲンビリア空港 両空港へ**約10分**
- ・南九州の結節点(ハブ)として、さらなる地の利の拡大

※鹿児島中央駅まで約20分

◎宮崎市のメリット

- ・宮崎市～鹿児島空港 約100分⇒**約20分**
- ・宮崎ブーゲンビリア空港に加え、鹿児島空港も選択肢に!

◎鹿児島市のメリット

- ・鹿児島中央駅～鹿児島空港 約40分⇒**約10分**
- ・利便性の大幅向上・渋滞解消!

◎霧島市のメリット

- ・鹿児島空港～鹿児島中央駅 約40分⇒**約10分**
- ・圧倒的アクセス・空と陸の発着拠点!

※イラストはイメージです

POINT
3
都城市が南九州の結節点
(ハブ)へ

POINT
2
2つの空港直結で広がる可能性

POINT
1
なぜ「鹿児島空港」を通
すのか？

開幕・基調講演

池田 宜永 たかひさ
都城市長

九州新幹線の全線開業に

路としても極めて重要なルートとなります。

※詳細は5ページ

鬼塚卓音さん

全体統括

河野俊嗣
宮崎県知事

新幹線は通すだけで自然に発展するものではありません。かつて都城志布志道路の開通効果を見据えて、池田市長が工業団地を整備し企業誘致に成功したように、インフラと将来の都市計画を一体で進めることが重要です。今日のシンポジウムを経て、これからの時代を担う若い世代の皆さんが将来に具体的なイメージを持ち、この地域をどうしていくか考えるきっかけにして欲しいと思います。

8月28日(金)に開催された本シンポジウムには、約560人の市民らが集いました。今回は、新幹線がもたらす未来への期待と熱気にあふれたシンポジウムの様子に加え、本市が考える南九州全体にとっての最善ルートについて紹介します。

◎問い合わせ
総合政策課
☎23-7161

